

【図書名等】フルハーネス型墜落制止用器具の知識

コード No.23312 第2版 定価：本体 900 円＋税

(コード No.および定価とも現行どおりです。)

【発行日】平成 31 年 3 月 29 日

【改訂の概要】

改訂のあらまし	該当頁
平成 31 年 2 月に改正された「墜落制止用器具の規格」を掲載し充実を図るとともに、必要な字句を修正した。主な改訂箇所は以下のとおり。	
特別教育のカリキュラムで、受講を省略できる条件を追加。	5
<b>序章 安全帯から墜落制止用器具へ</b>	
・高所作業の例のイラストを修正。	11
・「フルハーネス型の規格も変わった！」の中の記述を一部追加。	14
<b>第 1 章 作業に関する知識</b>	
・ 1 (1) 「(ア) わく組足場」の記述を一部修正。	18
・ 2 (3) 「高所作業車」の記述を一部追加。	24
・ 2 (4) 「ローリングタワー」の記述を一部追加。	25
・ 2 (6) 「脚立、うま」の記述を一部追加。	26
<b>第 2 章 フルハーネス型墜落制止用器具に関する知識</b>	
・ 1 (2) 「(ウ) D 環の位置」の記述を一部追加。	35
・ 2 (2) 「ランヤードの構造」の記述を修正。	36
・ 3 (1) 「(ア) 選定ポイント」の中で規格改正に関する記述を修正。	39
・ 3 (1) 「(イ) 選定要件について」で、「要件 1」の記述を一部修正。	40
・ 3 (1) 「(イ) 選定要件について」で、「要件 2」の記述を修正。	40
・ 「高さの基準の計算例」の内容を一部追加・修正。	41～42
・ 3 (1) 「(イ) 選定要件について」で、「要件 3」の記述を修正。	43
・ 3 (2) 「(ウ) 2 つのフック等を相互に使用する 2 丁掛け」の記述を一部追加。	44
・ 4 (3) ロープ径に関する記載を削除。	47
・ 4 (4) 延長ベルトについて追加。	48
<b>第 3 章 フルハーネス型墜落制止用器具等の使用方法</b>	
・ 図 3-2 「呼称サイズの体格の相関図」の色合いを修正。	51
・ 図 3-3、3-4、3-5 をベルト通しを加えたイラストに変更。	52、53
・ 1 (3) 「ランヤードの接続」の中の記述を一部追加。	53
・ 表 3-2 「フルハーネス型の点検項目例」を日本安全帯研究会の資料に変更。	61
<b>第 4 章 労働災害の防止に関する知識</b>	
・ 1 (1) 「墜落防止の設備」の記述の修正および図 4-1、図 4-2 に注釈を追加。	68、69
・ 「2. 落下物による危険防止のための措置」に「(1) 幅木、(2) メッシュシート、(3) 朝顔」について追加。	71、72
・ 「3. 感電防止のための措置」の「(1) 職場で行われている主な対策」に④を追加。	73
・ 「5. 事故発生時の措置」に「(2) 救急処置」を追加。	77
・ 「6. その他作業に伴う災害およびその防止方法」に「(2) 熱中症の防止」を追加。	81

<b>第5章 関係法令</b> ・第130条の5の解説文の一部を修正。	101～102
<b>付録 参考資料</b> ・「6. 墜落制止用器具の規格」を追加。	124～127
・「構造規格の主な改正点」を追加。	128～129
・災害事例5、6を追加。	152～157
・災害状況を追加。	158